

## 第2回いわき市総合計画審議会 議事録

### 1 日 時

平成31年2月1日（金） 13:30～15:00

### 2 場 所

市役所本庁舎8階 第8会議室

### 3 出席委員数

16名

### 4 次第・資料

別紙のとおり

### 5 議 事

#### (1) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の方向性について（資料1）
- ② 市民アンケートの調査概要について（資料2）
- ③ 市公共施設等総合管理計画の概要について（資料3）

#### (2) 協議事項

- ① 各委員ヒアリング等における「市総合計画に必要な視点」等について（資料4）

#### (3) その他

### 6 議事内容

#### (1) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の方向性について（資料1）

発言者	主な発言内容
事務局	(資料1に基づき説明)
委員一同	(意見なし)

- ② 市民アンケートの調査概要について（資料2）

発言者	主な発言内容
事務局	(資料2に基づき説明)
委員	アンケート調査は以前にも実施しているのか。
事務局	現行の改定後期基本計画は平成28年～32年度の計画期間で平成27年度に策定しているが、その際も実施している。

委員	無作為で抽出する 3,000 人の年齢幅も無作為になるのか。
事務局	年齢幅については、市内在住の 18 歳以上の男女に対して、人口比で地区別、男女別、年代別を設定している。
委員	<p>新たな計画については、20 年先を見据えて、計画期間は 10 年としており、20 年先を考えた場合、年齢が 18 歳の子は 38 歳になり、いわきで一番活躍する世代である。</p> <p>その一步手前の今の高校生世代についても、20 年後は 30 代中盤で脂が乗りきっている世代となり、対象年齢を高校生位まで下げて、若い方の意見を聴くのも良いかなと感じた。</p>
事務局	アンケートに加えて実施しているセグメント懇談会で各分野の団体や若者に対して意見をお聴きしている。足りない部分はそこで補っていききたい。

③ 市公共施設等総合管理計画の概要について（資料 3）

発言者	主な発言内容
施設 マネジメント課	(資料 3 に基づき説明)
委員	民間活力の活用について、上下水道以外の教育文化施設においても、コンセッション方式が対象となると聞いているが、現時点で検討している施設はあるか。
施設 マネジメント課	現時点で具体的に検討に入っている施設はないが、今後、公共施設の在り方を検討する中で併せて検討していきたい。
委員	今後、総合管理計画の改訂にあたっては、市民に意見を問うときにいくつかの案を提示し、それぞれの優劣を示すと良いかなと感じた。検討していただければと思う。
委員	<p>余剰施設や稼働率の定義について教えていただきたい。</p> <p>例えば、学校教育施設の稼働率とはどう捉えているのか。</p>
施設 マネジメント課	<p>余剰施設とは、行政目的を終えて使用されていない施設のことである。</p> <p>また、学校教育施設の稼働率についてであるが、学校については、施設の利用状況を計る施設ではないことから、稼働率は出していない。</p> <p>一方、公民館や文化施設などの集客を伴う施設については、貸出のコマ数に対しどれだけ利用されたかで、施設毎に稼働率を算出している。</p>

委員	<p>その中で、稼働率の最大値、最小値、平均値等をわかる範囲で教えていただきたい。</p>
施設 マネジメント課	<p>平成 26 年度の数値で、上荒川運動公園内の平テニスコートのクラブハウスは 100%となっている。</p> <p>一方、一部の公民館で 10%に満たないなど、稼働状況はバラバラである。</p>
委員	<p>一人が長い時間利用するケースや 100 人が一度だけ利用し、後の時間は空いているケースがあったり、稼働率を一律で定義するのはなかなか難しい点もある。</p>
委員	<p>昨日、ある地域の地域ケア会議に出席した。</p> <p>高齢者の一人暮らしや二人暮らし、少子高齢化が進む中、地域包括ケアということで私が所属する団体と市保健福祉部で色々な取組みを行っている。会議の中で、高齢者が集まる場所がないという話があった。</p> <p>ある地域では外で集まって活動しており、とても寒いとのことである。</p> <p>高齢者のお互いの助け合いによる地域づくりが必要であると考えているが、地域の中からみると、集まれる場所がないというところもある。</p>
委員	<p>稼働率は記載されているが、収益状況の記載はない。</p> <p>総合管理計画の性質上、記載すべきものではないのか教えて欲しい。</p>
施設 マネジメント課	<p>全ての公共施設で収益性を求める性格があるものではないが、国からは今の施設をそのまま維持管理した場合と長寿命化対策を図った場合の経費の見込みを総合管理計画に入れることが望ましいとの通知が出されている。</p> <p>今後の施設の維持管理、改築にあたっては、経費の見込みや施設の維持管理、改修に際しての財源をいくら確保できるのかといった視点が重要になる。</p> <p>施設の収益についても把握していく必要があることから、今後検討していきたい。</p>

(4) 協議事項

① 各委員ヒアリング等における「市総合計画に必要な視点」等について（資料 4）

発言者	主な発言内容
事務局	(資料 4 に基づき説明)
委員	<p>森記念財団都市戦略研究所が日本の都市特性評価というものを行っている。</p> <p>政令指定都市、県庁所在地、各都道府県で人口規模が第 1～3 位の都</p>

	<p>市の全 72 都市を対象に「経済・ビジネス」「研究・開発」「文化・交流」「生活・居住」「環境」「交通・アクセス」の 6 つの分野で指標を用いて、スコア化して、順位付けしている。</p> <p>この中でいわき市が「環境」で 7 位にランクしている。</p> <p>環境分野については我々の強みであると思う。</p> <p>県内他市では、「生活・居住」で福島市が 13 位、郡山市が 27 位に入っているが、その他分野で 30 位以内に入っているものはない。</p> <p>全国の総合でのランキングは、京都市、福岡市、大阪市、名古屋市、横浜市、神戸市、札幌市と続いている。</p> <p>各委員に対して日頃、自分の分野等で感じていることをお聴きした。</p> <p>これに加えて、客観的な目でどう都市が評価されるかを出発点とする見方も必要ではないかと思って申し上げた。</p>
委員	<p>総合計画は総花的にするのが果たして良いのかという意見もあるので、ある程度絞っていく必要もあるかと思う。</p> <p>復興計画等で「安全・安心」を掲げている。震災にとらわれるべきではないと言いつつも、震災の影響はある。</p> <p>「安全・安心」という一つの方向性を市としてもっていく必要はあると思う。</p> <p>また、イノベーション・コースト構想を踏まえ、プロジェクトや拠点施設整備が近隣で進む中、都市機能や生活の拠点はいわき市になるだろう。</p> <p>震災後、整ってきたところ、あるいは乱れたところを修正する意味でも、生活、住みやすさは重要になってくると思う。</p> <p>それから、縮小していく時代の中、農林水産業と生活との調和をどう図っていくかも重要であると感じている。</p> <p>各委員から出ていなかった意見としては「スポーツ」をどう入れるかや郷土愛というものを特徴づける必要もあると感じた。</p>
委員	<p>郷土愛については、精神論的なものだけではなく、実体も伴うような整理も必要かと思う。</p> <p>また、いわきの強みが何かと考えたときに、大きな障害から立ち直る力、再生能力かなと感じている。</p> <p>かつて石炭で栄えたが、エネルギー革命で石油に移行する中で、観光に活路を見出した。そして、震災があり、立ち直っていく中でイノベーション・コースト構想が出てきた。</p> <p>資料 4 の p29 にあるウォルトディズニーの言葉のように、企業の経営理念に類するような価値観、いわきでこれだけは絶対に譲れないというものを、新たな総合計画に取り入れたいと個人的に思っている。</p>
委員	<p>エコは大切であるということ述べたが補足させて欲しい。</p>

	<p>エコには ecology エコロジー（生態学）と economy エコノミー（経済）があるが、接頭語のエコの語源は同じで、ギリシャ語の oikos オイコス（家、家庭、生活環境等）から来ている。</p> <p>ecology の logy はギリシャ語で logos、学問・研究という意味から、家の学問、生物の住みか、自然・地球、つまり生態学、環境への配慮である。</p> <p>一方、economy の nomy はギリシャ語で nomos、法則・秩序という意味から、生計、家計の法則、つまり経済である。</p> <p>環境と経済は繋がっている。対立概念ではない、どちらか一方だけ発展してもうまくいかない。</p> <p>環境に配慮しながら経済の安定を実現することが安全で豊かな生活を送れる。</p> <p>それから、経済を呼び込むのに手っ取り早いのは観光であると思う。雇用にも繋がる。</p> <p>地元資本だけではなく、外国資本や都会からの資本も獲得していくべきと考える。</p>
委員	<p>スペインでは街中に 100～200m 毎に巨大な分別用のゴミ箱が置いてあり、市民はいつでもゴミを出すことができる。</p> <p>一方、シンガポールでは高額な罰金を科すことで、清潔さを保っている。</p> <p>日本においては、曜日毎に分別してゴミを出すシステムである。</p> <p>エコロジーに関しても、国や文化でアプローチが随分違うなという印象をもった。</p>
委員	<p>今後、少子高齢化が進む中で、市民が要介護や認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりが必要であり、地域包括ケアということで、医療、介護、行政の関係者で様々な取組みを実施している。</p> <p>キーワードでも「地域力」や「つながる」が、取り上げられているが、これを広げていく必要がある。特に中山間地域ではより大切である。</p> <p>子どもから高齢者まで繋がる地域づくりが必要であると感じている。</p> <p>私は5年前からある地区の小学4年生に対して認知症絵本教室を行っている。認知症について、講義や紙芝居で説明した後、子どもたちに6、7人でグループを作って、話し合いをして発表してもらおう。小学4年生にもなると物事も分かってきて、認知症の方に対して優しくしたいという気持ちを非常に素直に表現する。</p> <p>先進地だとそこから広げて、高齢者と子どもが交流するような取組みを行っており、是非力を入れていくべきと感じる。高齢者にとっては子どもと一緒にすることで非常に元気になる。</p> <p>最近は子ども達同士で遊ぶことが少なくなっている、経験がある高齢者から色々なものを教えていただける場を作っていければ良いと思</p>

	<p>う。</p> <p>また、昨年 11 月にある小学校の 6 年生へ、癌に対する特別授業を行った。全国的にはかなり広がりを見せている取組みである。提出された感想文をみて、非常に理解されていると感じた。</p> <p>若いときからの教育は非常に大切である。</p> <p>いわきから別の地域に出ていく若者は多いが、いわきに戻ってきてもできることについて、小学生のうちから分かってもらうこと、教育することは大切なことだと感じる。</p>
委員	<p>教育と他の分野との連携について話していただいた。</p> <p>ヒアリングの結果にもあったが、医師不足について、改善の施策はあるのか。</p>
委員	<p>昨年 12 月 25 日に医療センターが開院し、医師が 2 人増えた。放射線治療医師と緩和ケアの専門医師である。いわきの場合、勤務医数は全国平均の 6 割程度である。しかも、勤務医の年齢の高さは全国一に近い。新しい開業もほとんどない。簡単には増えないという認識である。</p> <p>私どもに何ができるか考えると、市民の皆さんへ医療や介護の知識を知ってもらわなければならないと必要であり、実は本市は健診受診率が低く、癌や脳卒中での死亡率が高い。</p> <p>福島県は健康指標が全国でも悪い方だが、いわき市は福島県の中でも一番悪い方である。</p> <p>私どもとしても何とかしないといけないと考えており、市とも一緒になり、団体等に対し、健康や医療について出前講座などをやっていきたい。</p> <p>市民の皆様が健康や医療や介護に関心を持ち、知識を身に付けていただき、健康管理をしていくことが医療や介護のマンパワー不足への対応策と考え、取り組んでいる。</p>
委員	<p>共立病院から医療センターとなり、化学療法のベッド数が増えた。ただ、中々予約が取れない。ネックはスタッフの数のようだ。</p>
委員	<p>看護師が少ないと動けないということが実際に多い。医療センターは素晴らしい設備で、高度な医療が提供できるようになっている。</p> <p>一部の人だけではなく、市全体で医療・介護職の従事者の誘致をアピールしていくべきと考える。委員の皆様も医療センターの看護師を勧めていただければと思う。</p>
委員	<p>キーワードに基づく視点が約 20 あるが、これを全部取り入れた場合、現行の総合計画と代わり映えしないように思う。また、何も達成できない可能性もある。</p>

	<p>一つの意見としては、いわき市で特に課題となっているところに絞り込んで、取り組んでいく計画にしたほうがよいと思う。何らかの優先順位を決めた上で策定作業を進めたほうがよいと思う。</p>
委員	<p>外国人に来ていただきたいと言っている一方で、各機関からの市在住の外国人への郵便物等は、日本語であり、重要なものであっても読めずに行動に移せないケースがある。重要なものは、英文等で概要、問合せ先などを記載するなどの対応をしたほうがよい。</p> <p>いわき市にも約1,500人の外国人がおり、その人たちに住みよい地域と考えてもらうのであれば、英文等を記載することは、重要なことだと思う。受け入れる側の言語の対応などの心構えが必要である。</p>
議長	<p>今日いただいた意見は、次の会議に向けて、方向性を定め繋げていきたいと思う。</p>


(4) その他

発言者	主な発言内容
事務局	<p>次回の会議の日程については、会長・副会長の日程、各委員の皆様の御都合も踏まえた上で、調整したい。詳細については、改めて事務局より連絡をさせていただく。</p>
委員	<p>これだけの人数の委員がいるので、審議会だけでは、なかなか意見の真意を理解するのが難しい。分科会としての活動の可能性があるか検討して頂きたい。</p>
議長	<p>私と事務局で検討したい。</p>

以上

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

平成 31 年 2 月 28 日

議事録署名人 石井 多津子 

平成 31 年 3 月 6 日

議事録署名人 大和田 亜紀 